Library Kagawa ISSN 1344-5464

図書館かがわ

－香川県立図書館報－

第145号
2024年12月

－香川県立図書館移転開館30周年記念講演会を開催しました－

「日常と非日常の交差点 ～万城目学が語る創作の秘密～」

12月21日(土)に、香川県立図書館視聴覚ホールにおいて、直木賞作家の万城目学氏による講演会を開催しました。当日は、万城目氏と親交のある「オール読物」編集長の石井一成氏(香川県坂出市出身)が聞き手となり、直木賞の裏側や氏の創作過程などを、楽しくお話ししていただきました。

後半では、会場からの質問に答えたり、サイン本争奪じゃんけん大会を開催するなど、万城目氏のお人柄に触れることができる貴重な時間になりました。

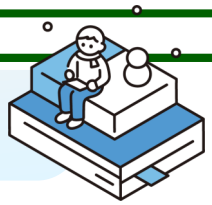
移転開館30周年の行事が終了しました

3月に開催した企画展示「Look back　香川県立図書館！」からはじまった香川県立図書館移転開館30周年の関連行事が終了しました。

例年開催している「子育て支援講座」は、父親向けベビーマッサージ教室と資産形成についての講座、「健やか生活応援講座」は、ヨガと写経、体操＆泌尿器ケア講座と、それぞれ回数を増やして実施しました。どの講座も多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

また、10月には読書通帳のデザインを刷新し、2種類の読書通帳とプレゼントのしおりも新たに作成しました。現在、館内で配布しています。

○新しい読書通帳
デザイン：香川県立高松工芸高等学校デザイン科
徳田梨音さん

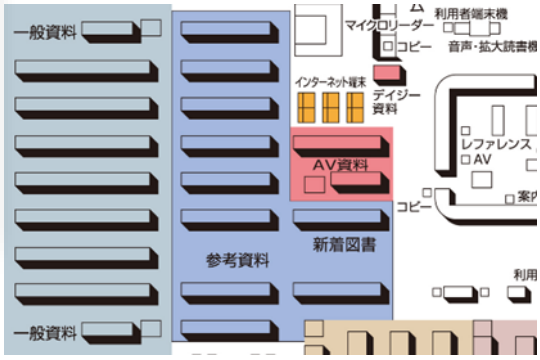


図書館コーナー紹介　参考資料コーナー

県立図書館には、調査・研究などに便利な事典・辞典・年鑑・白書・名鑑・法規などの資料をまとめて配架した、**「参考資料コーナー」**があります。

◎コーナー全景

・配架冊数7，541冊（令和6年12月現在）
・両面書架9本に参考資料がずらりと並ぶ
↓　この青いエリアです。



『広辞苑』など、言葉の意味を調べる「国語辞典」は、27種類51冊あり、最も巻数が多い『日本国語大辞典』（小学館）は、14巻もあります。

漢字を調べる「漢和辞典」は、24種類43冊あります。同じく最も巻数が多い『大漢和辞典』（諸橋轍次／著、大修館書店）は、全15巻です。

なぜこんなにたくさんの「参考資料」を収集して並べているのかというと、県民の皆さんや図書館職員が、日々の調べものに活用するためです。同じ言葉、漢字でも、辞典によって説明の表現が異なります。また辞典によって、編集方針や収録語数など、さまざまな違いがあります。皆さんが探している言葉が載っているかどうか、閲覧室ですぐ手に取って調べられるように、できる限り多くの種類の参考資料を集めて並べているのです。

また、図書館では、資料や機能を活用して、必要とされる資料の検索・提供・回答が得られるよう支援しています。このサービスを、**参考調査（レファレンス）**と言います。

◎レファレンスサービスの様子

・質問は、口頭のほか、電話、文書、メールでも受け付けています。
・寄せられたレファレンスの中から、調査研究の参考になるような事例をホームページで紹介しています。
・国立国会図書館が全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館等と協同で構築しているレファレンスデータベースに登録しています。

ご来館の際には、参考資料コーナーやレファレンスサービスも、どうぞご利用ください。

編集・発行　香川県立図書館　　https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/
〒761-0393　高松市林町2217-19（香川インテリジェントパーク内）
TEL 087-868-0567　　FAX　087-868-0607